

2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第9号:平成 21 年12月 28日 組織委員会・阪大事務局発行



はやくも 2009 年も末となりました。皆様お元気でお過ごしのことと存じます。先の大阪での免疫学会総会の際にご報告しましたように、ICI 2010 の組織活動は皆様のおかげで順調に進んでいます。

前号から大分、時間が経ってしまいましたが、皆様をお願いしたいこと、最近の進捗状況などをまとめてお伝え致します。



まず、免疫学会の一斉配信メールでもお伝えしていますが、下記のことにくれぐれもご注意下さい。

1. 学会発表のための抄録提出期限は、来年の2月3日です。これを過ぎると、ICI 2010 での口頭発表あるいはポスター発表ができなくなります。 来年は日本免疫学会総会学術集会が開催されませんので、この機会を失うと、再来年（2011年）の12月まで日本免疫学会による学術集会はありません。くれぐれもご注意下さい。なお、すべての抄録提出はオンラインで <http://www.ici2010.org/> から行って下さい。原則として、すべての提出された抄録はポスター発表となり、その中から各ワークショップの座長により口頭発表の演題が選ばれます。
2. 登録料の支払いも上記のサイトからオンラインで可能です。早期登録割引は5月31日までです。 早期登録の場合、一般の方は40,000円、学生は10,000円ですが、5月31日を過ぎると、一般の方は45,000円、学生は15,000円となりますので、ご注意下さい。
3. ホテルの予約も上記サイトから既にできるようになっています。http://www.ici2010.org/ac_tours.html#accommodations に様々なホテルの一覧表が出ています。会議間際になると、予約が一杯となり、希望のホテルに宿泊が出来なくなりますので、早めのご予約をお勧めします。
4. 日本免疫学会から若手のためのICI 2010 参加助成（一人3万円、70名まで）が決定されました。 抄録の筆頭著者が対象になります。詳細は <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsi2/> をご覧下さい。

以上のこと以外に、大事なおしらせは次のようです。

- プログラムの詳細（シンポジウム演者名、マスターレクチャーの演者名と講演タイトル）は既に ICI 21010 のウェブサイト（<http://www.ici2010.org/>）に公開されています。
- ワークショップ座長は原則として、日本人、外国人各1名です。現在、日本人座長が決まり、外国人座長に依頼状を出しているところです。
- 世界各国の免疫学会が若手会員の ICI 2010 参加のための奨学金制度を作り、これまでに当事務局に報告があっただけでも、約 600 名の若手研究者が旅費援助を得て ICI 2010 に参加する予定です。
- 緊急時の対応のためにリスクマネジメント委員会（仮称）を組織委員会内に作ることになりました。
- 次の企業が当会議の冠スポンサーとなる予定です。
ゴールドプラス(700 万円)： 中外製薬
ゴールド(500 万円)： 田辺三菱製薬、eBioscience、ライフテクノロジーズジャパン
シルバー(300 万円)： BioLegend/トミーデジタルバイオロジー、
日本ベクンディッキンソン、CSL ベーリング
ブロンズ(100 万円)： ノボルディスク、全薬工業、大日本住友製薬

もし、皆さんの関係で、他に冠スポンサー希望企業候補をご存じでしたら、事務局あるいは財務委員会(山本一彦、小安重夫両委員長)宛にお知らせ下さい。



当面、以上ですが、皆様からも組織活動に関するニュースがありましたら、遠慮なく、事務局までお知らせください。

阪大 ICI 2010 事務局: 師井悦子

tel. 06-6879-3971, fax. 06-6879-3979

e-mail: 2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp (I はエルです)

文責: 2010 ICI 組織委員会事務局長・宮坂昌之